



◎生活目標  
◎保健目標  
◎給食目標  
廊下や階段は静かに右側を歩こう  
歯を大切にしよう  
廊下や階段は静かに右側を歩こう  
食事を衛生的にしよう

## 旭小の特色ある活動“学級のキャッチフレーズ”づくり

本校では、それぞれの学級づくりを進める手立ての一つとして、学級みんなの思いや願いをこめたキャッチフレーズを作る活動を行っています。各学級のキャッチフレーズを紹介いたします。

- 1-1 ともだちをいっばいつくる かっこいい1ねんせい
  - 2-1 パワーアップ2年1組 自分をよくするのは自分
  - 2-2 ピカピカ あいさつ レインボー2の2
  - 3-1 サンサンあいさつ べんきょう集中 やさしさ1番 3の1
  - 3-2 本気でやりとげパワーアップ ラッキー スマイル ハッピー サニー ゴールデン チャレンジャー 3の2
  - 4-1 みんなの輪 桜魂4の1 ~Never Give Up~
  - 4-2 わすれ物0 欠席0 やる気100% かがやけ 4-2
  - 4-3 みんなで 楽しく 元気よく 「思い出」作るぞ4の3
  - 5-1 夢希向輝5の1 (むきむきと読むそうです)
  - 5-2 煮込むほどいい味が出来ます! おでん! です O 思いやりをもって D どんな時もくじけず E エールをおくりあって N 仲間と共に前進しよう
  - 6-1 やさしい笑顔 明るいいいさつ みんなのお手本 6-1
  - 6-2 翼をひろげ 心大きく 天とどく声 34!!
- のぞみ あいさつは元気よく べんきょうはしっかり こうどうはてきぱき 人にはやさしく おちこんでもすぐふっかつ

このキャッチフレーズを工夫を凝らして掲示用のものを作成して学級に掲げています。その一部を紹介いたします。



6年1組



6年2組



1年1組

最上級生の6年生と、入学したばかりの1年生のものです。子どもたちの思いや願いを吸い上げ、意見交換をしながら作り上げたキャッチフレーズです。3学期にはこのキャッチフレーズ実現に向けた取り組みについての振り返りを行うことになっています。このキャッチフレーズは学級の理想像でもあります。簡単に実現できるものではないと思います。近づくために、あるいは実現に向けて、学級の一人一人がどれだけ意識し、どのように取り組むことができたか。この視点に立って子どもたちが日々取り組んでいけるよう、できたことを認め、さらに向上できるように励ますことを継続して行きたいと考えています。ご家庭でも折に触れ、励ましや声掛け等で応援していただければと思います。

## 晴天に恵まれた大運動会

校長 中村 卓司

5月28日(土)に開催した『旭ヶ丘小大運動会』。運動会日和に恵まれ、成功裏に終了することができました。30名を超える来賓の皆様、大勢の保護者やご家族の皆様、地域の皆様の暖かな励ましやご声援を頂き、子どもたちは練習の成果を存分に発揮し、張り切って競技に、応援に、係活動に取り組むことができました。今年度は白組の優勝となりました。赤白に分かれて競い合う運動会ですから、勝敗はつきものです。成績発表の際は、白組は喜びの表情、赤組は残念な表情を見せました。その後は、全校児童が実にさわやか、晴れやかな表情に変わっていました。今年度の運動会のスローガン「優勝へ 新たな一歩 走り出せ」に向かって、一生懸命競技や応援、係活動に取り組むことができたこと、一人一人が自分のめあてに向かって精一杯取り組むことができたこと、この達成感や満足感が閉会式の表情となっていたのだろうと推察しています。これは、子どもたち、職員が一体となって練習や準備に取り組んできたことは勿論ですが、何よりも、保護者の皆様やご家族の皆様の運動会当日までの支えや励ましがあってこそと強く感じています。運動会に向けて、子ども、学校、家庭や地域が気持ちを一つにして取り組むことができたことを何よりうれしく思います。保護者やご家族の皆様、ご来賓や地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

### 【旭小児童の素晴らしさ1「頑張った6年生」】

6年生にとっては最後の運動会。最上級生としての責任を果たそうと、67名が心一つにして全ての練習や準備に一生懸命に取り組んでいました。そのことが伝わってくる場面が当日も数多く見られました。特に象徴的だったのが組体操の一コマです。最後の大技「旭小タワー」の時、崩れかけた組が一つ、崩れた組が一つありました。崩れかけた組は、根城先生の励ましと、「もう一回」「大丈夫」「できるぞ」等自分たちで声を掛け合いながら、最後の太鼓の合図に間に合わせて組み上げることができました。残念ながら崩れた組に、「もう一回チャンスを」の根城先生の声に呼応するように「頑張れ」の声が自然に広がり、大きな応援と励ましの輪が広がりました。それに応え、再チャレンジとはいえ、「旭小タワー」を立派に組み上げました。大きな拍手と「やったあ。」の声が6年生から上がり、会場が温かな空気に包まれました。6年生全員が心一つに取り組んできたからこそその場面でした。大変感動的であり、うれしい場面でもありました。

### 【旭小児童の素晴らしさ2「トラブル発生?の一コマ」】

予行練習での1年生の団体競技の際、放送機器にトラブルが発生し、ダンスの音楽が流れなくなってしまいました。1年生は入場後、しばらくの間その場で待たなければなりません。放送の回復を待ちながら千葉先生から励ましと指示が出されましたが、1年生35名は、動揺することもなく、しばらくして回復した放送に合わせて、ダンシング玉入れを練習していました。とても立派な態度に感心するばかりでした。

## お知らせ

病気休暇により昨年度から休んでいた山田真弓教諭が5月23日(月)から復帰し、長谷部幸恵講師が離任しました。担当は長谷部講師が受け持っていた、算数 TT (4・5年)、家庭科 (5・6年)、図工 (5・6年) をそのまま引き継ぎます。よろしくお願いいたします。